

■米国：カリフォルニア州で初のキャップアンドトレード制度がスタート

2012年11月14日、カリフォルニア州で初めて、温室効果ガス排出抑制を目的とした、CO₂のキャップアンドトレード制度がスタートした。カリフォルニア州では、まずは電力会社を含めた主要産業を対象として2013年1月1日から割当量に対する適用義務が本格的に開始する。その後2015年からは対象範囲を拡大する計画である。しかし、同州の本制度に関しては、州商工会議所が前日の13日に、州大気資源局（CARB）が実施する本制度は、州法で定めるCARBの実施権限を逸脱しているとして訴訟を起こすなど、波乱の船出となっている。